

(別紙様式8)

通信実施計画書

事業者名： (株)真和福祉会介護職員初任者研修事業

研修期間： 平成 31年 3月 3日～ 元年 7月 21日

1 添削指導

(1) 添削責任者

講師 番号	氏名	担当する科目・項目名	講師 要件	専兼の 別	新規・ 継続の 別	備考
2	稲葉伸二	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	ア エ	専任	継続	
3	村上佳子	8. 障害の理解	ア エ	専任	継続	
4	田端大士	3. 介護の基本	ア エ	専任	継続	
5	三浦加奈子	5. 介護におけるコミュニケーション技術	ア	専任	継続	
6	萩尾奈保美	9. こころとからだのしくみと生活支援	ア	専任	継続	
10	梶原るり子	2. 介護における尊厳の保持・自立支援	ア	専任	継続	
25	山本 琢	6. 老化の理解	ア	専任	継続	
27	神谷 孝	7. 認知症の理解	ア	専任	継続	

(別紙様式8)

(2) 課題作成者

講師 番号	氏名	担当する科目・項目名	講師 要件	専兼の 別	新規・ 継続の 別	備考
2	稲葉伸二	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	ア エ	専任	継続	
3	村上佳子	8. 障害の理解	ア エ	専任	継続	
4	田端大士	3. 介護の基本	ア エ	専任	継続	
5	三浦加奈子	5. 介護におけるコミュニケーション技術	ア	専任	継続	
6	萩尾奈保美	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	継続	
10	梶原るり子	2. 介護における尊厳の保持・自立支援	ア	専任	継続	
25	山本 琢	6. 老化の理解	ア	専任	継続	
27	神谷 孝	7. 認知症の理解	ア	専任	継続	

(別紙様式 8)

(3) 添削指導の進め方 (具体的な課題の配布方法・時期、提出方法、評価方法等)

課題の配布方法	・申込後受講料の入金を確認し、テキストと課題(問題集)を同封して発送する。
時期	・募集期間中にテキストと問題集を送付する ・自宅学習課題は開講期間中(下記参照)までに課題提出を完了する。 課題1・・・スクーリング第2回まで 課題2・・・スクーリング第3回まで 課題3・・・スクーリング第4回まで 課題4・・・スクーリング第5回まで 課題5・・・スクーリング第6回まで 課題6・・・スクーリング第7回まで 課題7・・・スクーリング第8回まで 課題8・・・スクーリング第9回まで
提出方法	・各課題の提出方法は、当社へ持参及び郵送(当日必着)にて提出
評価方法	・理解状況を確認するため、学科レポート採点基準は70点以上を合格と定め、各担当講師が採点をし、評価を行う。また基準に満たない者へは再学習の上で再提出を求める。合格点に達するまで再提出を続ける事とする。 ・自宅学習時の疑問や質問等はスクーリング時に対応し、通信補講を行う。

(別紙様式8)

2 面接指導

(1) 面接指導者

講師 番号	氏名	担当する科目・項目名	講師 要件	専兼の 別	新規・ 継続の 別	備考
2	稲葉 伸二	4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携	ア エ	専任	継続	
3	村上 佳子	8.障害の理解	ア エ	専任	継続	
4	田端 大士	3.介護の基本	ア エ	専任	継続	
5	三浦加奈子	5.介護におけるコミュニケーション技術	ア	専任	継続	
6	萩尾奈保美	9.こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	継続	
10	梶原るり子	2.介護における尊厳の保持・自立支援	ア	専任	継続	
11	大石 真紀	9.こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	継続	
14	服部 知之	9.こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	継続	
15	村上 祐子	9.こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	継続	
17	槌田 発美	1.職務の理解 10.振り返り 終了評価	ア エ	専任	継続	
20	野口 ゆかり	9.こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	継続	
23	西阪 達子	9.こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	継続	
24	田中 美幸	9.こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	継続	
25	山本 琢	6.老化の理解	ア	専任	継続	
26	徳永 雄司	9.こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	継続	
27	神谷 孝	7.認知症の理解	ア	専任	継続	

(別紙様式8)

28	稲葉 久乃	9.こころとからだのしくみ と生活支援技術	ア	専任	継続	
29	上村 恵子	9.こころとからだのしくみ と生活支援技術	ア	専任	継続	
31	長野 幸	9.こころとからだのしくみ と生活支援技術	ア	専任	新規	

(2) 面接指導時期、指導時間数

指導回	指導時期	担当講師	内容(講義・演習教科名)	時間数
第1回	3/3	槌田 発美	1.職務の理解	6時間
第2回	3/17	山本 琢	6.老化の理解	3時間
		田端 大士	3.介護の基本	3時間
第3回	3/24	稲葉 伸二	4.介護・福祉サービスの理解 と医療との連携	6.5時間
第4回	3/31	萩尾奈保美	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	7時間
第5回	4/7	三浦加奈子	5.介護におけるコミュニケーション 技術	3時間
		梶原るり子	2.介護における尊厳の保持・ 自立支援	4時間
第6回	4/14	大石 真紀	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	3時間
		村上 佳子	8.障害の理解	3時間
第7回	4/28	野口 ゆかり	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6.5時間
		神谷 孝	7.認知症の理解	
第8回	5/5	長野 幸	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第9回	5/12	村上 祐子	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第10回	5/19	稲葉 久乃	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第11回	5/26	田中 美幸	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第12回	6/16	服部 知之	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第13回	6/23	徳永 雄司	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第14回	6/30	上村 恵子	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	7時間

(別紙様式8)

第15回	7/14	西 阪 達 子	9. ころとからだのしくみと 生活支援技術	7時間
第16回	7/21	槌 田 発 美	10. 振り返り	4時間
			修了評価	1.5時間
				計 100.5 時間

注1 「担当する科目・項目名」欄には、カリキュラム(別紙様式4)に記載した科目名あるいは項目名を記載すること。科目又は項目名を特定せず面接指導を行う場合、2の(1)「担当する科目・項目名」、(2)「内容(講義・演習教科名)」には、当該面接指導で取り扱う内容について記載すること。

注2 「講師要件」「新規・継続の別」「専兼の別」「講師番号」欄には、講師一覧(別紙様式5の1)と同一の内容を記載すること。

注3 1の(3)「添削指導の進め方」には、課題の配布方法・時期、提出方法、評価方法等について、具体的な流れに沿って記載すること(別紙にて添付可)。